

平成27年版 建築設備設計基準の正誤表について
設備設計基準 第1版正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正
目次5				目次	上から17行目	第5節 送風量の算定及び空気調和機負荷の算定	第5節 送風量及び空気調和機負荷の算定
14	2	1	2-2	照度計算	表2-9 表中の3列目	下面盤放形	下面闊放形
14	2	1	2-2	照度計算	表2-9 表中の3段目	光源「メタルハライドランプ低始動電圧計」	「メタルハライド低始動電圧形」
14	2	1	2-2	照度計算	表2-9 備考(1)	JIGE-001	JIEG-001
56	2	1	5-1	コンセント	表5-1 表中の備考 下から3段目	厨房機器用の備考「防曇形 接地極付」	「防曇形 接地極付」
57	2	1	5-1	コンセント	3行目⑫	非常時盤放装置	非常時開放装置
60	2	1	6-3	主幹器具	表6-3 1段目	100、220、240、415	100、200、240、415
64	2	1	6-6	計測及び制御	図6-1 左の図上部	分電盤単線結線図「主幹器」	「主幹器具」
72	2	2	2-4-1	分岐回路	表2-2 表題	表題「標準電動機」	「電動機」
87	2	2	3-1	幹線	表3-2 備考(6)	備考(6)「配線用遮断器の定格電流は、最大容量の電動機定格電流の3倍に他の電動機の定格電流の合計を加えた値以下を示す。」	「電動機中最大のものを以外の負荷機器の全てが運転されており、電動機中最大のものが始動されるとした。」
88	2	2	3-1	幹線	表3-3 備考(6)	表3-3 同上	同上
95	2	3	2-1	普通充電装置	第2節 2-1の1行目	(1)充電装置の電気方式等については、	(1)充電装置の電気方式等は、
96	2	3	2-2	急速充電装置	第2節 2-2の1行目	(1)充電装置の電気方式等については、	(1)充電装置の電気方式等は、
98	2	4	1	基本事項	表1-2 表中のA2第2種発熱線の欄	表1-2 発熱体の分類「A2 第2種発熱線」	「A2 第2種発熱線、A4 第4種発熱線」 (A4 第4種発熱線を追加)
98	2	4	1	基本事項	表1-2 表中最下段の主な用途の欄	配水管ヒーティング	排水管ヒーティング
126	2	5	3-2	電線管、金属ダクト	図3-3 水切つばの位置		
139	2	6	2-1-3	接地極	表2-5 表中の4段目	「放射線状接地極」	「放射状接地極」
139	2	6	2-1-3	接地極	下から3行目	(3)②「水平接地極の場合は、」	「放射状接地極(水平接地極)の場合は、」
140	2	6	2-1-3	接地極	図2-3 図中の左の部分	0.5m以上	
140	2	6	2-1-3	接地極	図2-3 図中の中央部の接地極	垂直接地極	放射状接地極(水平接地極)
166	2	8	4-2	受変電設備単線接続例	図4-5 発電機との接続部分	遮断器FG上部のCTと過電流継電器	ZCTと地絡継電器
166	2	8	4-2	受変電設備単線接続例	図4-5 左下	3相変圧器の太陽光発電回路「※」	「※2」
183	2	8	5-5	高調波対策	図5-3 図中の主CB二次側	主遮断器下部のZCT	CT
194	2	9	5-1	システム構成例	図5-1 右下の注	注*2 蓄電池	「蓄電池」
195	2	9	5-1	システム構成例	図5-1 表中右側の「目的及び用途」の1段目	太陽光発電設備の目的及び用途「、発電電量の直近予測、」	「、発電電量の直近予測、」
205	2	10	2-1-4	発電機出力係数(RG)の算出	下から1行目	(3)「Xd'g: 負荷投入時における・・・」	「Xd'g: 負荷投入時における・・・」
211	2	10	2-1-4	発電機出力係数(RG)の算出	20行目(式を1行とする)	(4) M3のただし書き「・・を計算して、その値が最大となるmiをM2とする。」	「・・を計算して、その値が最大となるmiをM2とする。」
215	2	10	2-1-5	発電機出力係数(RG)の値の調整	16行目(式を1行とする)	(3) M2の説明「(ks/Zm*cosθs)・mi」	「(ks/Zm*cosθs)・mi」

215	2	10	2-1-5	発電機出力係数 (RG) の値の調整	18行目	(3) M2'の説明「すべての原動機器時投入許容量を考慮した定常負荷入力[kW]の値が最大となる負荷の出力[kW]」	
226	2	10	3-1-7	標準定格及び標準方式	表3-4 注の*4	表3-4 注*4 「ラジエータ搭載式」	「ラジエータ搭載形」
227	2	10	3-1-9	ディーゼル機関の換気、有効開口面積、送風機の算定	3-1-9の7行目	3-1-9(1)③のただし書き「10[°C]未満の場合」	「10[°C]以外の場合」
230	2	10	3-2-9	ガス機関の換気、有効開口面積、送風機の算定	5行目	3-2-9(1)①のただし書き「10[°C]未満の場合」	「10[°C]以外の場合」
230	2	10	3-3-2	燃料	計算式wの説明に灯油を追加	w:燃料密度、……とする。	w:燃料密度、……灯油780 [g/L]とする。
264	3	1	2-1	共通事項	2-1の3行目	2-1(2)のただし書き「音声、映像、監視データ等を」	「音声、映像等を」
278	3	2	4-2-1	配管配線	下から2行目	一般内線電話器	一般内線電話機
318	3	10	2	機器	(4) 文章の後半	、設置場所の状況を考慮して選定し、投受光器の間隔及び取り付け高さの特記する。	、設置場所の状況を考慮して選定する。
318	3	10	2	機器	(6) 文章の後に追加		投受光器の間隔及び取り付け高さの特記する。
363	4	1	3-5	外気負荷	空気密度の単位 下から9行目	ρ :空気密度[kg/m ³]	ρ :空気密度[kg/m ³]
364	4	1	3-6	加湿量	加湿量の単位 上から1行目	加湿量 Gs [kg]	加湿量 Gs [kg/h]
367	4	1	5	送風量及び空気調和機負荷の算定	8行目	送風量の算定及び空気調和機負荷の算定	送風量及び空気調和機負荷の算定
456	4	1	13-1	全熱交換器一般事項	(8)下から1行目	…、原則として自動換気機能を…	…、原則として自動切替換気機能を…
476	4	3	2-1-3	空気線図の作図法	下から2行目	…顕熱コイル出口温度(t _{3c})を…	…空調機出口温度(t _{3c})を…
476	4	3	2-1-3	空気線図の作図法	下から1行目	$\Delta t_c = t_{1c} - t_{3c}$	$\Delta t_c = t_{1c} - t_{3c}$
477	4	3	2-1-3	空気線図の作図法	上から1行目	(f)混合空気状態点の決定……③	(f)混合空気状態点の決定……⑤
479	4	3	2-2-1	一般事項	下から5行目	(1)デシカント空調システムは、外気負荷を処理するデシカント外調機にて外気と室内還気を混合し、室内負荷を処理する顕熱空調機を通じて給気する空調方式で、…	(1)デシカント空調システムは、デシカント外調機にて処理した外気と室内負荷を処理する顕熱空調機にて混合して給気する空調方式で…
482	4	3	2-2-3	空気線図の作図法	(f)デシカントローター通過空	$\frac{④' \text{ ③}}{① \text{ ④}} = \frac{x_{4'h} - x_{3h}}{x_{1h} - x_{4h}}$	$\frac{④' \text{ ③}}{① \text{ ⑦}} = \frac{x_{4'h} - x_{3h}}{x_{1h} - x_{2'h}}$
503	4	3	7-2-1	アースチューブ(チューブシステム)の算定	(3)アースチューブの出口空気温度 t[°C] 下から4行目	$t = t_0 - (t_0 - t_0' \cdot e^{-\left(\frac{1}{R^*} \cdot \frac{1}{C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v}\right) \cdot L})$	$t = t_0 - (t_0 - t_0' \cdot \exp\left(-\left(\frac{1}{R^*} \cdot \frac{1}{C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v}\right) \cdot L\right))$
590	4	7	3	ダクト系の抵抗計算	下から16行目	ε :絶対粗度[m](=0.15×10 ⁻⁴)	ε :絶対粗度[m](=1.5×10 ⁻⁴)
632	5	2	7-2	管径の計算	(5)①下から5行目	…、配管抵抗と代表給水器具の必要最小圧力…	…、配管抵抗、必要最小圧力…
876	5	4	7-2	雨水排水管の算定	表7-2雨水横走刊の管径	管径200:配管こう配1/75::許容最大屋根面積:空欄	管径200:配管こう配1/75::許容最大屋根面積:1,590
668	5	4	4-1	グリース阻集器(工場製造阻集器)の算定	表4-3 補正回転数の標準値備考 下から16行目	備考 厨房を含む店舗面積…	備考 厨房を含む食堂面積…
678	第5編	第4章	第7節	7-2雨水排水管の算定	表7-2 排水横走管の管径	配管径200mm::こう配1/75の欄、二	配管径200mm::こう配1/75の欄、1,590
688	5	6	1	表1-1消火設備の設置基準	部岡対象物 五、六の屋内消火栓設備 一般の欄	(特性施設)	(特定施設)

716	第5編	第6章	第5節	5-3スプリンクラー設備	1行目	5-3スプリンクラー設置	5-3スプリンクラー設備
727	5	6	8-1	一般事項	表8-1不活性ガス消火設備の特徴 消火剤の特性	地球温暖化への影響 (CO2排出係数)	地球温暖化への影響 (地球温暖化係数)
735	5	6	10-1	一般事項	表10-1ハロゲン化物消火設備の特徴 消火剤の特性	地球温暖化への影響 (CO2排出係数)	地球温暖化への影響 (地球温暖化係数)
819	7	1	2	中央監視制御項目	表2-1 中央監視制御項目 下から11行目	ハロゲン化物消火設備	ハロゲン化物消火設備
866	7	2	4-7	冷却塔の監視及び制御	図4-13 冷却塔システムズ(1) 上部冷却塔の左側	LC	LFS
890	7	2	8	電力設備系の監視及び制御	図8-1 中央部分	電力計算	電力計測
934	7	7	3-4	温水パイプ融雪装置	下から7行目	、ポリブテン管)、	、ポリブテン管)、
936	7	7	3-5	ヒートパイプ融雪装置	下から7行目	、ポリブテン管)、	、ポリブテン管)、

平成27年版 建築設備設計基準の正誤表について
設備設計基準 第2版正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正
14	2	1	2-2	照度計算	表2-9 備考(1)	JIGE-001	JIEG-001
57	2	1	5-1	コンセント	3行目⑩	非常時壁放装置	非常時開放装置
60	2	1	6-3	主幹器具	表6-3 1段目	100、220、240、415	100、200、240、415
126	2	5	3-2	電線管、金属ダクト	図3-3 水切つばの位置		
227	2	10	3-1-9	ディーゼル機関の換気、有効開口面積、送風機の算定	3-1-9の7行目	3-1-9(1)③のただし書き「10[°C]未満の場合」	「10[°C]以外の場合」
230	2	10	3-2-9	ガス機関の換気、有効開口面積、送風機の算定	5行目	3-2-9(1)①のただし書き「10[°C]未満の場合」	「10[°C]以外の場合」
230	2	10	3-3-2	燃料	計算式wの説明に灯油を追加	w:燃料密度、……とする。	w:燃料密度、……灯油780[g/L]とする。
278	3	2	4-2-1	配管配線	下から2行目	一般内線電話器	一般内線電話機
318	3	10	2	機器	(4) 文章の後半	、設置場所の状況を考慮して選定し、投受光器の間隔及び取り付け高さを特記する。	、設置場所の状況を考慮して選定する。
318	3	10	2	機器	(6) 文章の後に追加		投受光器の間隔及び取り付け高さを特記する。
363	4	1	3-5	外気負荷	空気密度の単位 下から9行目	ρ :空気密度[kJ/m ³]	ρ :空気密度[kg/m ³]
364	4	1	3-6	加湿量	加湿量の単位 上から1行目	加湿量 Gs [kg]	加湿量 Gs [kg/h]
413	第4編	第2章	第7節	7-4ユニット形空気調和機選定表	(5)入口空気温度による能力補正	(5)入口空気音頭による能力補正	(5)入口空気温度による能力補正
456	4	1	13-1	全熱交換器一般事項	(8)下から1行目	…、原則として自動換気機能を…	…、原則として自動切替換気機能を…
476	4	3	2-1-3	空気線図の作図法	下から2行目	…顕熱コイル出口温度(t _{3c})を…	…空調機出口温度(t _{3c})を…
476	4	3	2-1-3	空気線図の作図法	下から1行目	$\Delta t_c = t_{1c} - t_{3c}$	$\Delta t_c = t_{1c} - t_{3c}$
477	4	3	2-1-3	空気線図の作図法	上から1行目	(f)混合空気状態点の決定……③	(f)混合空気状態点の決定……⑤
479	4	3	2-2-1	一般事項	下から5行目	(1)デシカント空調システムは、外気負荷を処理するデシカント外調機にて外気と室内還気を混合し、室内負荷を処理する顕熱空調機にて混合して給気する空調方式で、…	(1)デシカント空調システムは、デシカント外調機にて処理した外気と室内負荷を処理する顕熱空調機にて混合して給気する空調方式で…
503	4	3	7-2-1	アースチューブ(チューブシステム)の算定	(3)アースチューブの出口空気温度 t[°C] 下から4行目	$t = t_e - (t_e - t_o) \cdot \exp\left(-\frac{1}{R^* \cdot C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v} \cdot L\right)$	$t = t_e - (t_e - t_o) \cdot \exp\left(-\frac{1}{R^* \cdot C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v \cdot 1000} \cdot L\right)$
590	4	7	3	ダクト系の抵抗計算	下から16行目	ε :絶対粗度[m](=0.15×10 ⁻⁴)	ε :絶対粗度[m](=1.5×10 ⁻⁴)
876	5	4	7-2	雨水排水管の算定	表7-2雨水横走刊の管径	管径200:配管こう配1/75::許容最大屋根面積:空欄	管径200:配管こう配1/75::許容最大屋根面積:1,590
668	5	4	4-1	グリース阻集器(工場製造阻集器)の算定	表4-3 補正回転数の標準値備考備 下から16行目	備考 厨房を含む店舗面積…	備考 厨房を含む食堂面積…
678	第5編	第4章	第7節	7-2雨水排水管の算定	表7-2 排水横走管の管径	配管径200mm::こう配1/75の欄、二	配管径200mm::こう配1/75の欄、1,590

688	5	6	1	表1-1消火設備の設置基準	部岡対象物 五、六の屋内消火栓設備 一般の欄	(特性施設)	(特定施設)
716	第5編	第6章	第5節	5-3スプリンクラー設備	1行目	5-3スプリンクラー設置	5-3スプリンクラー設備
819	7	1	2	中央監視制御項目	表2-1 中央監視制御項目 下から11行目	ハロゲン化物消火設備	ハロゲン化物消火設備
866	7	2	4-7	冷却塔の監視及び制御	図4-13 冷却塔システムズ(1) 上部冷却塔の左側	LC	LFS
934	7	7	3-4	温水パイプ融雪装置	下から7行目	、ポリブテン管)、	、ポリブテン管)、
936	7	7	3-5	ヒートパイプ融雪装置	下から7行目	、ポリブテン管)、	、ポリブテン管)、

平成27年版 建築設備設計基準の正誤表について
設備設計基準 第3版正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正
363	4	1	3-5	外気負荷	空気密度の単位 下から9行目	ρ : 空気密度[k \downarrow /m \uparrow]	ρ : 空気密度[kg/m \uparrow]
364	4	1	3-6	加湿量	加湿量の単位 上から1行目	加湿量 Gs [kg]	加湿量 Gs [kg/h]
413	4	2	7-4	ユニット形空調和 機選定表	(5)入口空気温度による能力 補正	(5)入口空気音頭による能力補正	(5)入口空気温度による能力補正
456	4	1	13-1	全熱交換器 一般事項	(8)下から1行目	・・、原則として自動換気機能を・・・	・・、原則として自動切替換気機能 を・・・
503	4	3	7-2-1	アースチューブ (チューブシステム) の算定	(3)アースチューブの出口空気 温度 t[°C] 下から4行目	$t = t_e - (t_e - t_o) \cdot \exp\left(-\frac{1}{R^* \cdot C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v} \cdot L\right)$	$t = t_e - (t_e - t_o) \cdot \exp\left(-\frac{1}{R^* \cdot C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v \cdot 1000} \cdot L\right)$
678	5	4	7-2	雨水排水管の算定	表7-2 排水横走管の管径	配管径200mm::こう配1/75の欄、-	配管径200mm::こう配1/75の欄、 1.590
716	5	6	5-3	スプリンクラー設備	1行目	5-3スプリンクラー設置	5-3スプリンクラー設備
876	5	4	7-2	雨水排水管の算定	表7-2雨水横走刊の管径	管径200:配管こう配1/75::許容最 大屋根面積:空欄	管径200:配管こう配1/75::許容最 大屋根面積:1.590

平成27年版 建築設備設計基準の正誤表について
設備設計基準 第4版正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正
363	4	1	3-5	外気負荷	空気密度の単位 下から9行目	ρ : 空気密度[k \downarrow /m \uparrow]	ρ : 空気密度[kg/m \uparrow]
364	4	1	3-6	加湿量	加湿量の単位 上から1行目	加湿量 Gs [kg]	加湿量 Gs [kg/h]
456	4	1	13-1	全熱交換器 一般事項	(8)下から1行目	…、原則として自動換気機能を…	…、原則として自動切替換気機能 を…
503	4	3	7-2-1	アースチューブ (チューブシステム) の算定	(3)アースチューブの出口空気 温度 t[°C] 下から4行目	$t = t_e - (t_e - t_o) \cdot \exp\left(-\frac{1}{R^*} \cdot \frac{1}{C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v} \cdot L\right)$	$t = t_e - (t_e - t_o) \cdot \exp\left(-\frac{1}{R^*} \cdot \frac{1}{C_p \cdot \rho \cdot A \cdot v \cdot 1000} \cdot L\right)$